

公式LINEを、日々の業務窓口にする

SP-LN04

合同会社岸本商會
公式LINE導入・業務活用支援

公式LINEは、クーポンや一斉配信だけの道具ではありません。
予約、問い合わせ、来店後フォロー、顧客管理、売上確認、スタッフ連絡など、
地域の小規模事業者が日々行う業務の入口として活用できます。



配信だけでなく、 受付や確認、連絡まで LINEに集約できます

「公式LINEを使っているが配信しかしていない」「電話、DM、紙、口頭の受付が分散している」「予約や問い合わせの対応漏れを減らしたい」といった相談を、予約、確認、来店後フォロー、売上確認、スタッフ連絡まで含めて、販路開拓、業務効率化、デジタル化の相談テーマにできます。

活用テーマとしての位置づけ

販路開拓

来店、予約、問い合わせにつながる入口を作る。

業務効率化

電話、DM、紙、口頭の受付をLINEへ集約する。

デジタル化

顧客情報、対応状況、売上確認を見えるようにする。

人手不足対策

バイト連絡、確認、通知を一つの流れにする。

よくある状態

- 公式LINEはあるが、配信以外の使い道が少ない。
- 予約、問い合わせ、電話、紙メモが分散している。
- 対応済みか、誰が確認したか分かりにくい。
- 売上確認やスタッフ連絡が別管理になっている。



まとめた状態

- リッチメニューで必要な入口を選べる。
- フォーム、通知、管理画面で受付を残せる。
- 来店前後の案内やフォローを始められる。
- 売上確認やスタッフ連絡も同じ流れで扱える。

具体例

店舗

予約希望、問い合わせ、来店前案内、来店後フォロー。

教室・スクール

体験申込、欠席連絡、開催前連絡、個別相談。

バー・飲食店

来店記録、売上入力、バイト連絡、閉店後の確認。

小規模工事・作業

写真送付、現地確認依頼、日程調整、進捗連絡。

初回相談で見ること

- 公式LINEを今、何に使っているか。
- 電話、DM、紙、口頭で受けている業務は何か。
- 予約、問い合わせ、売上確認、バイト連絡のどれが重いか。

岸本商會で支援できること

- 現状整理** 公式LINEと業務窓口の現状を整理する。
- 導線設計** 主要導線を分かりやすく組み立てる。
- 簡易管理画面** 来店、売上、バイト連絡などを見えるようにする。